

➡ 2025 アメリカ ポストン・NY研修報告 VOL2

8月15日～23日に行われた、グローバルリーダーのアメリカ合衆国ポストン・ニューヨーク研修報告第二弾です。

8/20(水)の午前中には、私たちは社会問題に取り組むシンクタンクであるアспен研究所でプレゼンを行い、これはアメリカ研修の大きな山場となりました。各班とも、MIT でいただいたフィードバックをもとに前夜まで練習を重ねていました。実は、3月にアспен研究所のジョナサンさんとサーシャさんが日比谷高校に来校してくださいました。その際にお話したメンバーも多く、久しぶりの再会を喜ぶ声がたくさん聞かれました。緊張もありましたが、どの班もパワーアップしたプレゼンで堂々と発表していました。また、質疑応答にも分かりやすく応答できており、一人ひとりが自分の成長を感じることができました。いただいた鋭いフィードバックをもとに、プロジェクトをどう進めればよいのかを考えるきっかけにもなりました。緊張したプレゼンの後のピザは、アメリカサイズで驚きましたが、とても美味しかったです。研究所の方々と話すことができ、笑顔が溢れる空間となりました。



アメリカサイズのピザ！

ASPEN での発表

午後には、国連日本政府代表部を訪問しました。日本が直面するジェンダー格差やSDGsの現状および解決策について知ることができました。国連日本政府代表部の吉田公使のお話を伺う中で、早急な取り組みの前に変化に適応できる環境づくりの方が大切だと学びました。近年は紛争やナショナリズムなどのトレンドで国際社会の協力や秩序が乱れています。そのような歴史の転換点の中で、SDGsの大切さや柔軟に適応する必要性を強く感じました。世界中の問題に日本人の代表として取り組んでいる方とお話する機会はめったにないため、とても実りのある時間でした。

8/21(木)の最終日の午前中には国連本部を見学しました。テレビでよく見るような会議室や舞台に興奮したのはもちろん、そのエンターテインメント性に驚きました。署名コーナーやフォトスポット、お土産屋さんが数多くあり、しっかりと観光名所になっていました。1グループに1人アテンダントがついて本部の中を詳しく説明しながら回ってくださり、一般の人もとつきやすいようにと努力する姿勢が見られました。その分私たちも、より世界規模の課題に興味を持ち、積極的に向き合っていく必要があると思いました。午後にはニューヨークで活躍する寶納(ほうのう)さんから、ダイバーシティ&インクルージョンに関するレクチャーを聞きました。グラウンドルールというある意味での共通認識を設定するなど、チームワークを上げるコツを教えていただき、GE-NET20という1つの集団での一体感がより高まるきっかけとなりました。その後も、それぞれのグループとしての課題点について積極的な質問する生徒の姿が見られました。



発射不能の銃
非暴力の象徴とされています



国際連合総会会議場



寶納さんによるグループワークの様子

その後はニューヨーク市内研修を行いました。金融の中心地と呼ばれるウォール街や有名なランドマークのブルックリン橋を訪れました。中でも特に印象に残ったのはやはり 9.11 Memorial & Museum でした。館内は暗く、瓦礫や柱、ダメージを受けた壁などがいたるところに展示されていました。さらに中に入ると、当時のニュース映像や写真、特に涙を誘われたのがテロによって亡くなった約三千人の方の顔写真が表示されていました。また、タッチパネルが何個も設置されていて、キーワード（“日本人” など）を入れると該当する被害者たちが一覧になって出てくるようになっていました。残された人たちにとって一番辛いのは被害者が忘れられてしまうことなので、タッチパネルに表示された詳しい記載が少しでも慰めになっていれば良いと感じました。



ブルックリン橋



リフレクティング・プール

9.11 犠牲者の誕生日に白いバラを置き、追悼しています



9/11 Museum 内部

アメリカ研修の最後の夕食は、世界的に有名な Hard Rock Café のニューヨーク店でいただきました！フライトまでの残り時間は、皆お土産を買ったりタイムズスクエアを散策したり、思い思いに過ごしていました。あっという間に終わってしまったボストン・ニューヨーク研修でしたが、メンバーそれぞれが有意義に過ごすことができていると思います。この研修が大きな山場なのは確かですが、これからも GE-NET20 の活動は続いていくので、学びや気づきを活かし、よりプロジェクトをブラッシュアップさせていきたいと思っています！！



Hard Rock Café でのステーキとポテトの夕食



タイムズスクエア



ニューヨーク市警の騎馬警官